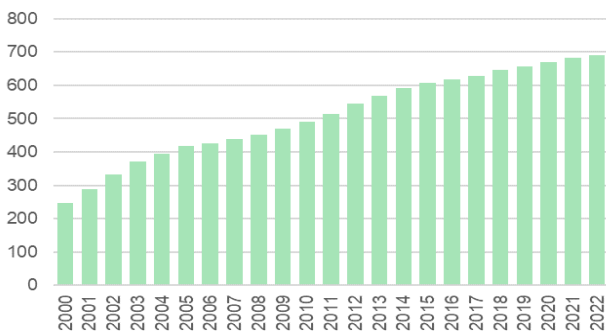


ちょっと気になる「資産運用」「保険」「年金」などお金についての話題をお届けします。

介護認定者数 690万人に



厚生労働省は先月、「令和3年度 介護保険事業状況報告」を発表しました。それによると2022年の要介護認定者数は約690万人、介護保険制度が始まった2000年の約247万人から約2.8倍になりました。



2025年には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になり、ますますこの数が増えると予想されています。このような流れを受け介護保険開始当初、約2900円だった介護保険料は2023年には約6200円になっています。さらに**2025年には8100円程度**に上がることが予想されています（保険料は全国平均）。

介護の問題はお金だけではありません。公益財団法人介護労働安定センターの調査によると恒常的な人手不足という調査結果が出ています。待遇を改善し人手不足を解消するためにも保険料や自己負担の見直しは避けられないかもしれません。

介護従事者の人数は増えてはいる

今年度（2023年度）の第26回介護支援専門員実務研修受講試験の結果が4日に発表されました。

今回は1万1844人が合格となり、合格者数の増加は2年ぶりとなりました。

前回より合格者については1500人強多くなっています。

介護従事者の人数が着実に増えているとはいえ、**今の日本の高齢者が増える人数には追いついていない**といえます。

介護費用のインフレの備えを！

そこで考えるべきなのが、**介護費用の高騰**です。更に高齢者が増え、介護従事者の人数増が追いつかないと人件費高騰が予測されます。

何も準備していないと介護費用のインフレで望んだレベルの介護が受けられない可能性があります。

私の介護費用準備

NISAで老後資金を増やしていますが、介護については保険が最強だと考えています。

\$ 建の終身保険と投資信託で保険料を運用する変額保険の2つに加入しています。

要介護2になると払った保険料以上のものを受け取ることができます。また、三大疾病になると以後の保険料を払わなくてもいいという特約も付けています。

でも、介護状態にならなかつたら…

その時は解約返戻金で楽しく暮らします。

そして、いつまでも元気でいられるよう頭と身体を鍛える努力をしています。



「みらいのお金クリニック」
アルシアコンサルティング株式会社
深川 恵理子

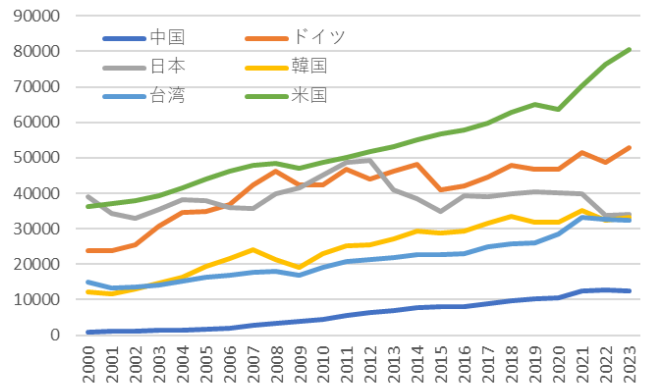
〒251-0023 神奈川県藤沢市鵜沼花沢町2-3PHビル2階
TEL 0466-54-8417 CALL 090-8437-5259

[HP click](#) ◀ [Blog click](#) ◀ [LINE friend](#) ◀ [Twitter follow](#) ◀

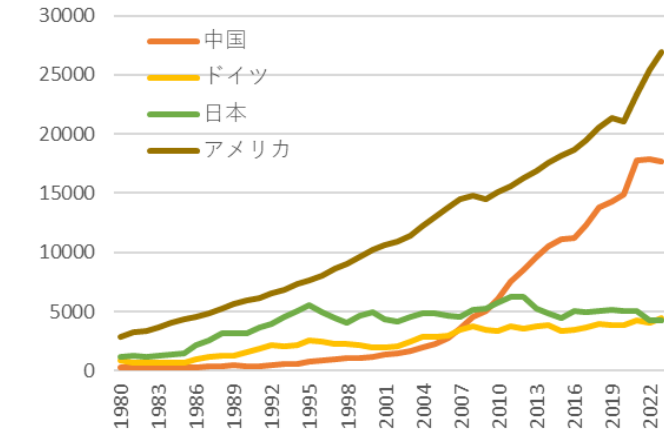
日本のGDP世界4位に転落

GDPとは、国内総生産のことを指します。一定期間内に国内で生産されたモノやサービスの付加価値の合計額を示すもので、国内の景気を比較的正確に反映する指標として使われています。この数値を見ることで、その国の経済規模が分かり、景気の変動や経済成長を分析することができます。

IMF（国際通貨基金）の世界経済予測によると日本のGDPは2023年、ドイツに抜かれ世界第4位に転落することがわかりました。



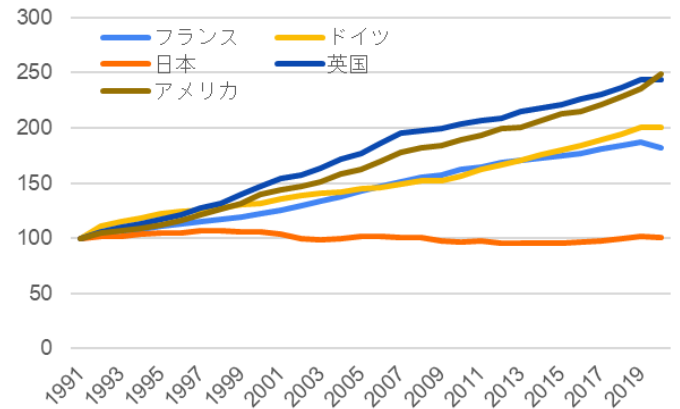
2000年の一人当たりGDPはアメリカと同水準でしたが2010年代に入ると日本は減少、一方他国は継続的に一人当たりGDPを伸ばしてきました。日本の一人当たりGDPが増えない中、アメリカは2.2倍、中国は13倍、ドイツ2.2倍と一人当たりGDPでも水をあけられ、韓国、台湾と同水準になりました。



日本は戦後の奇跡的な復興により1960年代末に世界第2位の経済大国になり、1980年代には「Japa as No.1」、いずれはアメリカを抜くのではと言われていました。ところが90年代以降成長が止まり2010年には中国に抜かれ3位に、その後米中との差は大きく開いています。

下図は各国の賃金の推移を表しています（名目賃金）。

下表は自国通貨建てGDPの2000年と2023年を比較（単位10億）したものです。日本は自国通貨建てでも23年間横ばい、その間中国は12.6倍、米国は2.6倍、ドイツ1.9倍と各国とも成長してきました。



	2000年	2023年	
中国（元）	9,980	125,319	12.6 倍
米国（米ドル）	10,251	26,950	2.6 倍
ドイツ（ユーロ）	2,109	4,070	1.9 倍
日本（円）	535,418	588,573	1.1 倍

1990年代半ば以降、諸外国との賃金にも格差が生じています。このようなデータをみると世界の中で相対的に日本が貧しくなっていることがわかります。

これを見ると4位転落の原因は円安だけではなさそうですね。

賃金を自分の力で変えるのは難しいかもしれませんが、支出を減らすことや資産運用することは自分でできることです。また、医療や介護、老後資金などの準備はこのような環境を考慮してしっかりと準備しておく必要があると思います。

右上図は国民一人当たりGDP（ドル建て）の推移です。

自分の人生は自分で作る。
自分で自分を幸せにする。
それが一番シンプルで簡単ではないでしょうか？